

「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会(全国重症心身障害児(者)を守る会の大阪支部)へ入会についてご案内いたします。



- 【個人会員】 年会費 8,400円
 本部「両親の集い」、本会「支える」発行購読料含む
 年会費 3,600円
 本会「支える」発行購読料含む
- 【法人・団体会員】 年会費 10,000 (1口)
 本部「両親の集い」、本会「支える」発行購読料含む
- 【協力会員】 年会費 3,000円(1口)(運営資金の協力会員)
 本会「支える」発行購読料含む

申込み・問い合わせは事務局までお願いします

会費納入のお願い

既に納入がお済みの方にはあしからずお許しを賜りますようお願い申し上げます。

<問い合わせ> TEL 06-6624-2555
 FAX 06-6624-2556

<郵便振替> 00930-9-69598
 大阪府重症心身障害児・者を支える会



支える会ホームページのご案内

ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>
 メールアドレス osaka@sasaeru.or.jp

様々な御意見・御質問や情報をメールや掲示板にお寄せ下さい。

全国・各地へリンクあり!

「支える会」事務局

〒545-0021
 大阪府阿倍野区阪南町5-15-28
 阿倍野コミュニティセンター2階
 大阪府重症心身障害児・者を支える会
 会長 鈴木 祥子
 TEL 06-6624-2555
 FAX 06-6624-2556
 <郵便振替> 00930-9-69598

(※会費の方は会費の申込に含ませてください)

- 発行所 大阪府重症心身障害児(者)を支える会
 〒545-0021 大阪府阿倍野区阪南町5-15-28
 阿倍野コミュニティセンター2階
 TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2556
 郵便振替口座 〇〇九三〇九八九五九八
 大阪府重症心身障害児・者を支える会
 編集・責任者 編集委員一同

編集後記

新しい年が明きました。一百年に一度の大不況になる「派遣切り」などのニュースが飛び交う中、福祉の現場はどうなっているのでしょうか。人手不足を補えようという考えもあるようですが、重い障害の方と関わっている現場の実状を考えるとどうなのでしょう。

社会障害者議会、障害者団体の報告が昨年末に出されましたが、障害者自立支援法施行後3年の経過についての中間は、「検討入」まであるという文面が多くなります。

自立支援法の理念はわかりませんが、現場の実態や利用者のニーズに合ったものになるのでしょうか。相談支援体制が出来ても、医療従事者が必要重症心身障害児(者)や、いわゆる動く重症児を診察するための「バス」に受付けいやが、受け付けているものが整備されていくのでしょうか。自立支援法が作られた財財的的的的的的的的的的的の考えを考「自立とは」を深く考えさせられます。

お食事会(中華) ダンス 紙芝居 腹話術 ソング ゲーム etc

2003.12.27
 交流事業



去る十月十七日、第一部 第二部と構成を分けて交流会が行われました。
 第一部では、お食事会として天王寺寺口にある中華料理店でお腹を満足させました。
 第二部は、長居障害者スポーツセンターで、Kyoukou dance kids club (ダンス・ソング)、加藤さん一家(腹話術・おしはばい・オカリナなど)、エンジェル(手遊び・歌など)、学生ボランティアさん(ゲーム)の皆さんが、わいわいがやがや、楽しく華やかに忘年会を演出して下さいました。
 盛り沢山の内容にみんなが楽しめた年の暮とったと思います。ご出演の皆さん、ボランティアの皆さん、有り難うございました。



OTK

支える会

No 66

大阪府 重症心身障害児・者 支える会
 全国 重症心身障害児(者)を守る会
 大阪 支部

決って争ってはいけない争いの中
 親に弱いものを生かさない
 親に強いものが生かされて
 弱さを越えること、運動に参加する者は
 最も弱いものを一人ももれ無く守る

2ページのつづき

*看護師は、きた棟19人・みなみ棟21人、福祉士は、きた棟23人・みなみ棟18人で他にパートの方がおられる。

*入所者の障害程度により、きた棟(50人)とみなみ棟(50人)に分けている。
きた棟は、すべて1人部屋で、ユニット性による小集団生活を基本としている。
みなみ棟は、1人部屋が3つで、他は2人部屋と4人部屋である。
リビングルームは、きた棟が10、みなみ棟が6あり、外部にやすらぎの庭、ふれあいの庭、くつろぎの庭がある。
きた棟の入所者は、11歳から53歳で平均年齢は38歳、みなみ棟は平均年齢51歳で最高齢は65歳である。全体の平均年齢は、40歳を越えている。

*1日平均の外来患者数は約150名、当日も多くの患者さんが、診察を待っていました。

今回、見学させていただいて一番印象に残ったことは、障害程度による完全なグループ分けで、ユニット化されており、通常は物理的に他のグループと接触できないことです。医療的ケアが必要な重症児(者)の施設では、基本中の基本ですが、これが出来にくい施設があるのも事実です。動く方と動けない方がプレイルームで同居すると、動く方に手がかかり、職員も大変ですが、動けない方の精神的な苦痛はもっと大変です。私の長女も動いていたのですが、寝たきりになりましたので、両方の大変さは、良く理解できます。

昭和45年に開所された金剛コロニーの長い歴史と経験が、この立派な施設に活かされていると思われます。

T . Y .

インフォメーション

「全国重症心身障害児(者)を守る会」「守る会・近畿ブロック」関係の以下の情報や資料が支える会事務局にあります。

社会保障審議会・障害者部会報告 概要

社会保障審議会・障害者部会報告

～障害者自立支援法施行3年後の見直しについて～

社会保障審議会・障害者部会(第46回平成20年11月27日以降の開催資料から)

社会保障審議会・障害者部会(障害者自立支援法施行後3年の見直しについて)「報告書を読む」

社会保障審議会・障害者部会報告をめぐる新聞報道と第46回以降の傍聴記・部会報告書概説

障害児支援の見直しに関する検討会について【全国重症心身障害児(者)を守る会作成】...平成20年11月15日開催の九州・沖縄ブロック大会資料

重症心身障害児(者)施設「すくよか」見学記

さる10月31日(金)、大阪府重症心身障害児・者を支える会として、会長以下数名が「すくよか」を見学させていただきました。

私は、平成18年2月4日(土)に「全国守る会近畿ブロック」の役員研修会で金剛コロニーの「すぎの森」を見学させていただきましたが、この時「すくよか」の建設予定地がありました。

*「すくよか」は、大阪府内で5番目の重症心身障害児(者)施設です(「枚方療育園」：昭和44年4月開設・400床、「四天王寺和らぎ苑」：平成13年4月開設・100床、「大手前整肢学園」：平成16年4月開設・30床、大阪発達総合療育センター「フェニクス」：平成18年4月開設・60床)。

*施設の概要

開設日	平成19年4月1日
定員	重症心身障害児(者)施設 100名 短期入所 10名
診療科目	10科(内科、小児科、循環器科、精神科、外科、整形外科、婦人科、耳鼻いんこう科、歯科、リハビリテーション科)
建物	・構造 鉄筋コンクリート造 ・病棟(きた棟・みなみ棟)平屋建 ・診療棟 地上2階建 ・建築面積 4,691㎡ ・延べ床面積 5,573㎡
整備方針	生活重視の福祉施設 ユニット性を採り入れた小集団での生活を基本とし、利用者の視点に基づいた「住まい」としての形態を重視する。 福祉と融合した医療機関 現金剛コロニー附属診療所の機能を維持するとともに、リハビリテーション機能も整備する。また、利用者の様態を考慮し、必要な医療サービスが行えるよう整備をおこなう。 在宅ニーズに応える地域拠点施設 短期入所、リハビリテーションなど多様なサービスを提供するとともに、地域の方々との交流の場を併せて整備する。

3ページへつづく

「御支援のお願い」住み慣れた地域で暮らしたい！

そうした想いを実現するために、小さなグループの単位で生活出来る生活ホーム(ケアホーム)の設置に取り組んでいます。

何卒、重度障害者の生活ホームの建設に御理解を賜り御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

建設資金に御協力をお願いします。
生活ホーム建設協力金：1口 5,000円 (何口でもかまいません)

*郵便振替 00920-5-122046 重度障害者の生活ホームをつくる会

*銀行口座 三井住友銀行 西田辺支店 (普通)口座番号6899831
重度障害者の生活ホームをつくる会 会長 園田隆二

大阪市阿倍野区阪南町2-23-11みどり教室内
重度障害者の生活ホームをつくる会
TEL 06-6622-3759 FAX 06-6622-3769
E-mail: midori@sasaeru.or.jp



御支援、御協力いただける方を募っています

重介護の最重度知的障害児者・医療面のケアも必要な方
障害特性に配慮した多様な支援が必要な方

の命を守り、地域で豊かな暮らしをするための受け皿は？

報告集が
できました！

発行 大阪府重症心身障害児・者を支える会

¥1,000.-

「広汎性発達障害を伴う重症児者の理解のために」

(独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業報告集)

内容

- 「自閉症スペクトラムを伴う重症児者への支援」 門 眞一郎 氏
京都市児童福祉センター
- シンポジウム「広汎性発達障害を伴う重症児者の現状を見守って」 高野 伸幸 氏
シンポジスト 厚生労働省 障害福祉専門官
- びわく学園医療福祉センター 石井裕紀子 氏
- 重症心身障害児施設 すくよか 平山 哲 氏
- 大阪府重症心身障害児(者)を支える会 中谷 弘子 氏
- コーディネーター 全国重症心身障害児(者)を守る会 奈良興支部長 品川 清美 氏
- 「各ライフステージに必要なサービスは・・・」 飯田 雅子 氏
悠々倶楽部ライフステージ・悠トピア運営
- 「障害者自立支援法と最重度障害児者の課題と展望」(要旨) 岡田 薫英 氏
川崎医療福祉大学 学長

実態調査

「報告集」購入申し込み先・問い合わせ先

「大阪府重症心身障害児・者を支える会」事務局

～重症心身障害児施設保護者 交流会～ 報告

さる平成21年1月22日(木)、育徳コミュニティーセンター2階・研修室に於いて、「入所児者のニーズを考える」をテーマに大阪府下の重症心身障害児施設に入所している方の保護者が集いました。最も重い障害のある子どもを守るため、どのような思いや悩みを抱えているのか、同じ立場の者同志、情報を交換して少しでも安心できる状況を作りたいとの思いを抱き交流会をもちました。

始めに、大阪府健康福祉部障がい保健福祉室・施設福祉課・岩城由幸課長補佐より「大阪府の重症児者施策の現状」についてお話があり、続いて、参加者の自己紹介をしてから、各施設の現状や、今後の障害児支援に関する不安、大阪府下の重症児者施策に対する思いなど語り合いました。

社会保障審議会・障害者部会において検討されていた、障害者自立支援法の「施行後3年の見直し」の報告書がまとまりました。それに先立ち出された「障害児支援の見直しに関する検討会報告」とのからみも含め、大阪府の重症児者施策にポイントを絞って、解りやすくお話ししていただきました。

医療的ケアが必要な重症児者も、大阪の地で安心して暮らせる制度になるように、保護者同士が集い継続して交流の場を持って、できる限りの努力をしていかなければならないところにきていると思います。



ヘルパーさん募集します!!

熱意のある方、車の運転ができる方、土日を中心に活動できる方、歓迎します!

登録については履歴書と資格証明書が必要です。



重症児者を支える会居宅介護事業所

事業内容：身体介護 家事援助 移動支援 重度訪問介護

受付時間：9時～18時

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

TEL:06-6624-2565 FAX:06-6624-2561
育徳コミュニティーセンター内

支える会泉佐野居宅介護事業所

事業内容：身体介護 家事援助 移動支援 重度訪問介護

受付時間：9時～18時

〒598-0002 大阪府泉佐野市中庄1522-1
TEL:0724-63-2297 FAX:0724-63-2454

